



診療情報提供書規格

日本HL7協会 CDA SIG/WG1

平井正明

2007年7月13日

診療情報提供書例

紹介先医療機関名 担当医	科	殿	平成	年	月	日	
紹介先医療機関の所在地及び名称							
電話番号							
医師氏名							
印							
患者氏名						性別	男・女
患者住所							
電話番号							
生年月日	明・大・昭・平	年月日	(歳)	職業			
傷病名							
紹介目的							
既往症及び家族歴							
症状経過及び検査結果							
治療経過							
現在の処方							
備考							
備考	1. 必要がある場合は続紙に記載して添付すること。 2. 必要がある場合は画像診断のフィルム、検査の記録を添付すること。 3. 紹介先が保険医療機関以外である場合は、紹介先医療機関等名の欄に紹介先薬局、市町村、保健所名等を記入すること。かつ、患者住所及び電話番号を必ず記入すること。						

診療情報提供書(患者紹介)

平成18年5月30日

紹介先医療機関名 HL7病院 内科
 担当医 港 次郎 殿
 〒181-0001東京都新宿区西落合1丁目91番4号
 TEL 03-3506-0010

所在地 〒105-0001東京都港区虎ノ門1丁目18番9号
 医療機関名 JAHS病院 内科
 電話番号 03-3560-8070
 医師氏名 東京 太郎

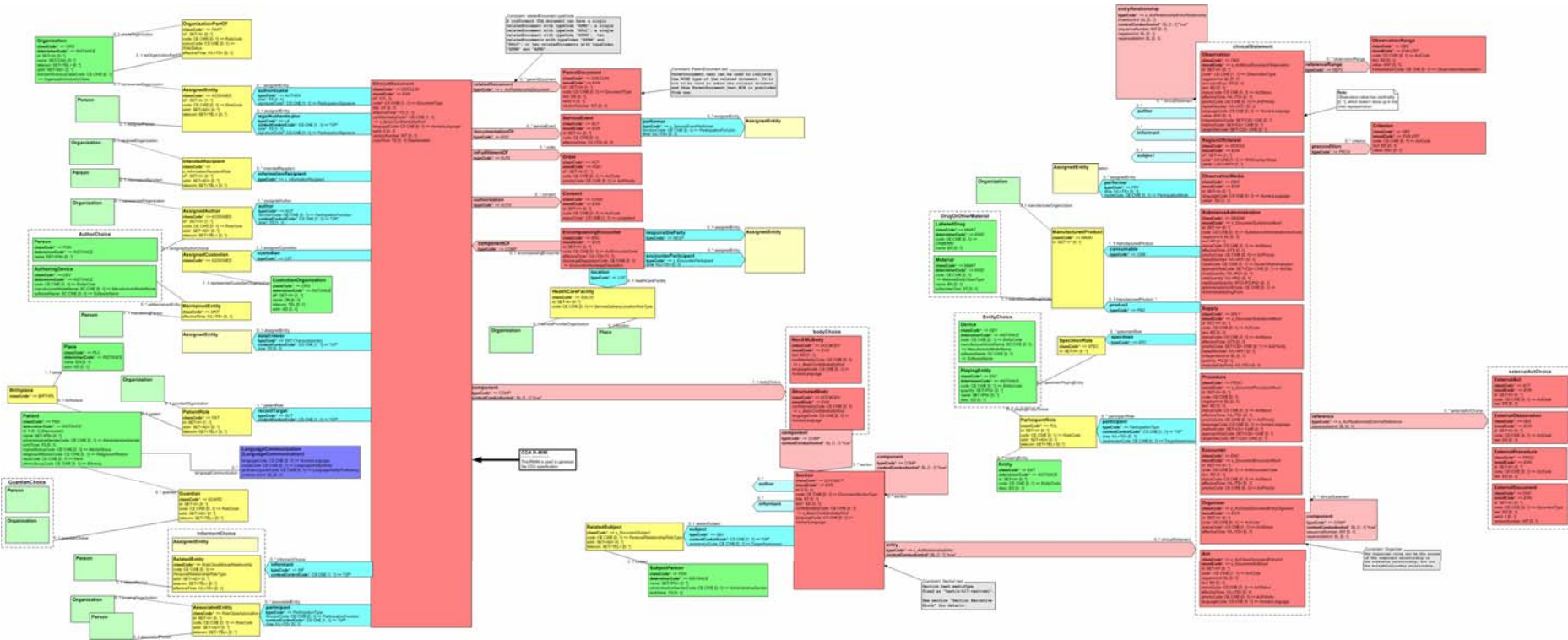
患者氏名	ニホン ハナコ	性別	女
患者住所	日本 花子		
電話番号	〒113-0024 東京都文京区西片1丁目17番8号		
生年月日	03-5805-8201	(53 歳)	職業 会社員
生年月日	昭和27年7月17日		

目的	胃潰瘍投薬治療後の経過観察
連絡事項	平成17年9月8日当科入院、投薬治療、胸腹部CT施行いたしました。投薬治療により、潰瘍が消滅しました。ご本人の希望もあり、今後の経過観察につき御高診の程、よろしく願い申し上げます。
生活習慣/リスク要因	喫煙：20本/日、飲酒：ビール1本/日
身体所見	身長170cm 体重48kg
現疾患(診断内容)	胃潰瘍
現在の処方	ガスター一散2% 20mg 力価1日2回 朝・夕食後 7日分
既往歴	気胸
アレルギー	なし
予防接種	昨年末にインフルエンザ
検査所見	心電図検査を添付致します 標準12誘導心電図検査
家族歴	母親：胃潰瘍

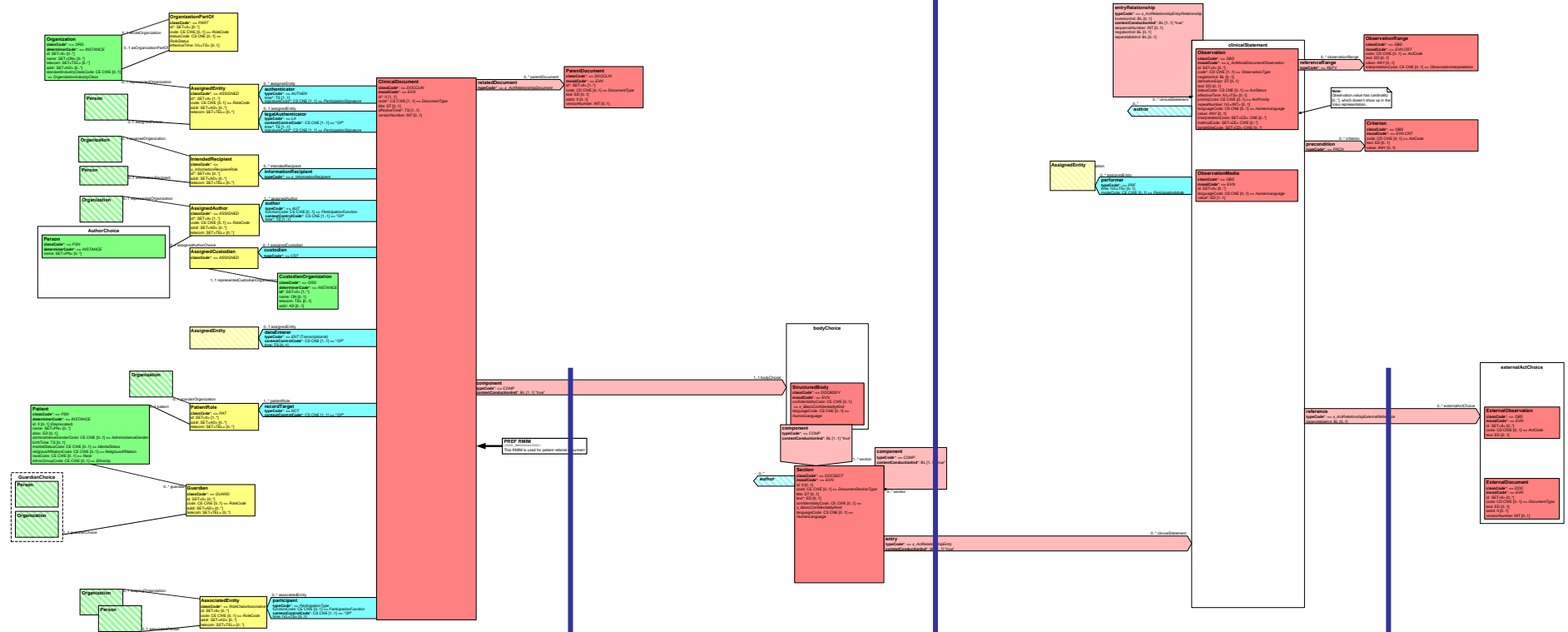
ページが表示されました

- 医療機関間での診療情報を共有するために
HL7 CDAResponse2(Normative Edition 2005)に基づいて
診療情報を電子的に記述するための規格
 - 患者診療に関する情報の提供
 - 低コストでシステムを実現
 - 再利用が可能
 - ドキュメント生成アプリケーションによる互換性
- V1.0はレベル2による実装を規定
 - 標準化が進んでいない医療情報システム
 - 標準化コードが未整備
- V1.0は患者診療情報提供書(HL7J-CDA-001)で紹介状を記述する場合と同等

CDA R-MIM



CDA R-MIMを診療情報提供書用に制約



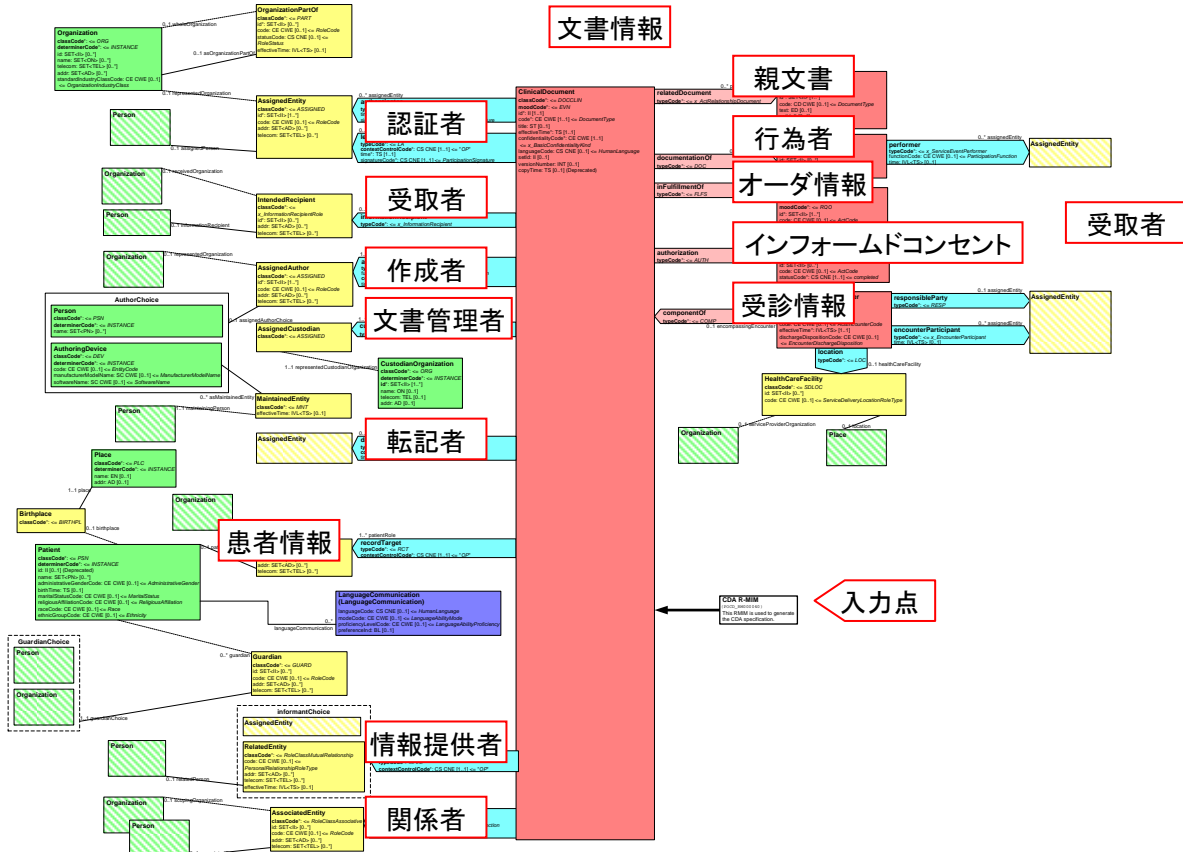
ヘッダ部

叙述部

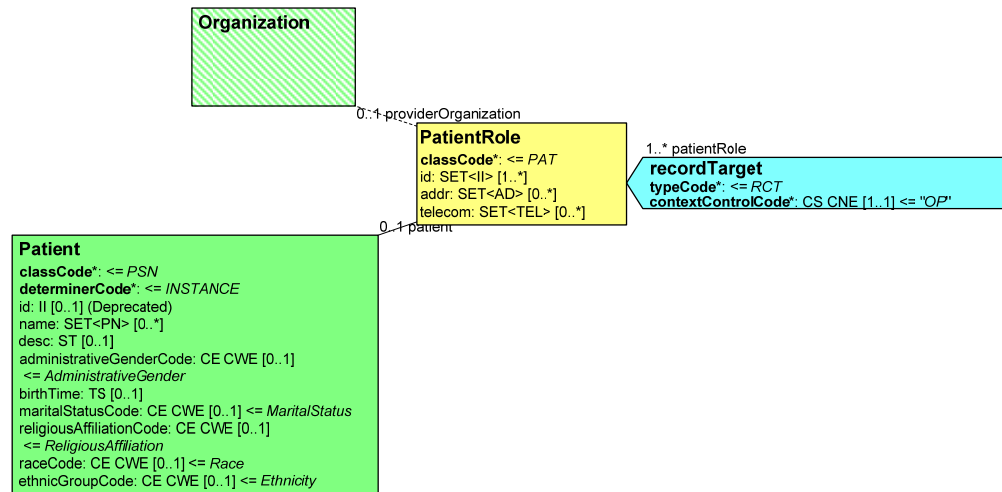
エントリー部

外部参照部

CDA ヘッダ



患者属性の記述



複数の患者IDの記述

紹介元ID

```
<id root="紹介元ID" extension="患者ID" assigningAuthorityName="紹介元"/>
```

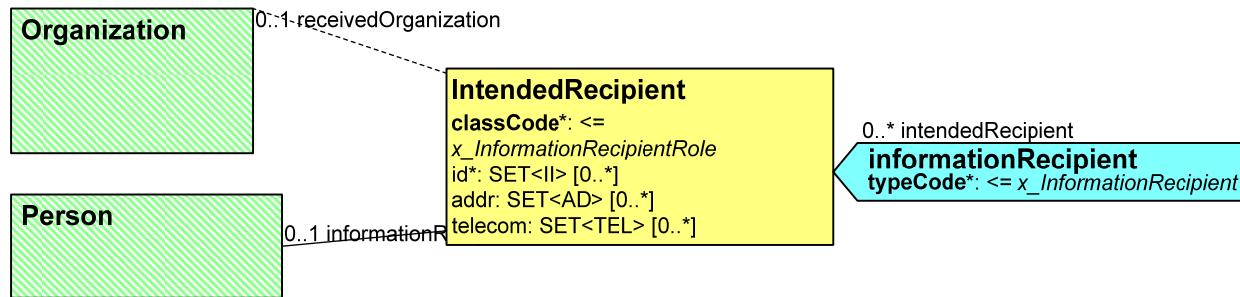
紹介先ID

```
<id root="紹介先ID" extension="患者ID" assigningAuthorityName="紹介先"/>
```

地域連携ID

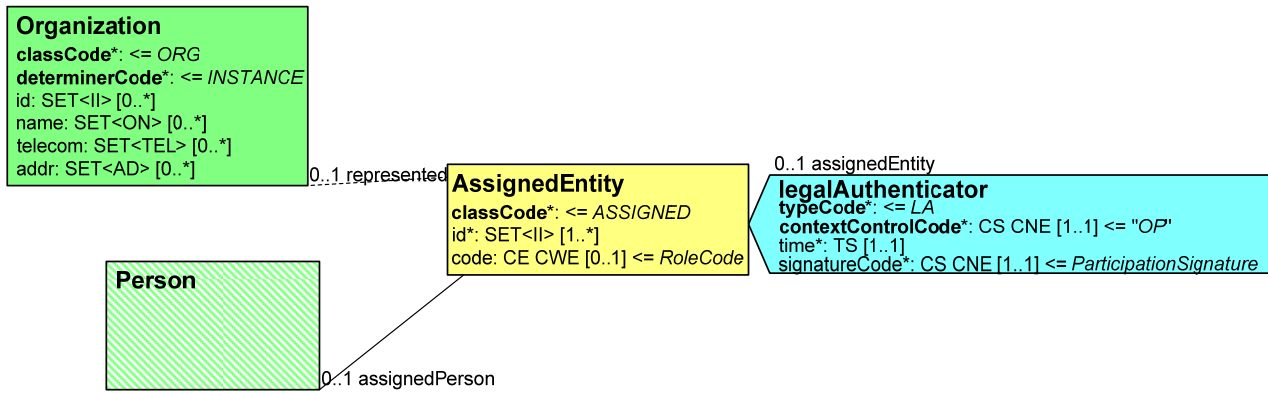
```
<id root="地域連携ID" extension="患者ID" assigningAuthorityName="地域連携"/>
```


紹介先記述



- 紹介先住所
 - <addr>
 - <country>JP</country>
 - <postalCode>郵便番号</postalCode>
 - <streetName>区町村丁字番地</streetName>
 - <city>市区郡</city>
 - <state>都道府県</state>
 - </addr>
- 紹介先機関電話番号
 - <telecom use="WP" value="tel:電話番号"/>
- 紹介先医師名
 - <informationRecipient>
 - <name use="IDE">
 - <family>姓</family>
 - <given>名</given>
 - </name>
 - </informationRecipient>
- 紹介先医療機関名
 - <receivedOrganization>
 - <id extension="医療施設ID" root="医療機関UID"/>
 - <name>紹介先医療施設・機関名</name>
 - </receivedOrganization>

責任者の記述



診療情報提供書項目制約 J-MIX

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
  <xs:include schemaLocation="../coreschemas/voc.xsd"/>
  <!-- 診療情報提供書項目JMIXコード表-->
  <xs:simpleType name="refCode">
    <xs:restriction base="cs">
      <xs:enumeration value="MD0020730"/>
      <xs:enumeration value="MD0020200"/>
      <xs:enumeration value="MD0018530"/>
      <xs:enumeration value="MD0022790"/>
      <xs:enumeration value="MD0018550"/>
      <xs:enumeration value="MD0014230"/>
      <xs:enumeration value="MD0014760"/>
      <xs:enumeration value="MD0014860"/>
      <xs:enumeration value="MD0018730"/>
      <xs:enumeration value="MD0015320"/>
      <xs:enumeration value="MD0012990"/>
      <xs:enumeration value="MD0013820"/>
      <xs:enumeration value="MD0020890"/>
      <xs:enumeration value="MD0014330"/>
      <xs:enumeration value="MD0022780"/>
      <xs:enumeration value="MD0018800"/>
      <xs:enumeration value="MD0020900"/>
      <xs:enumeration value="MD0020210"/>
      <xs:enumeration value="MD0012810"/>
      <xs:enumeration value="MD0020330"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:schema>
```

CDA

```
<component typeCode="COMP" contextConductionInd="true">  
  <structuredBody classCode="DOCBODY" moodCode="EVN">  
    <component typeCode="COMP" contextConductionInd="true">  
      <section classCode="DOCSECT" moodCode="EVN">  
        <code code="MD00XXXXX" codeSystem="1.2.392.200119.5.1" codeSystemName="JMIX"  
codeSystemVersion="1.0" displayName="現投与" />
```

レベル2

```
<title>現投与</title>
```

```
<text> <table>
```

```
<tr><td>Rp1</td><td>ジルテック錠 10mg</td><td>1 錠 1日1回</td><td>朝食後</td><td>14 日</td></tr>
```

```
<tr><td>Rp2</td><td>ポラミン復効錠 6mg</td><td>1 錠</td><td>かゆい時</td><td>14 回</td></tr>
```

```
<tr><td>Rp3</td><td>トプシムローション 10g</td><td>4 本 1日2回</td><td>頭</td></tr>
```

```
<tr><td>Rp4 </td><td>混用 ヒルドイド軟膏 20g</td><td>0.5 本</td></tr>
```

```
<tr><td></td><td>リンデロン-V軟膏 5g</td><td>2 本</td><td>1日2回</td><td>体幹、四肢</td></tr>
```

```
</table></text>
```

レベル1

```
<entry typeCode="COMP" contextConductionInd="true">
```

```
<substanceAdministration classCode="SBADM" moodCode="EVN">
```

```
<consumable typeCode="CSM">
```

```
<manufacturedProduct classCode="MANU">
```

```
<manufacturedLabeledDrug classCode="MMAT" determinerCode="KIND">
```

```
<code code="1005653" codeSystem="0.2.440.200194.10.9.1"
```

```
codeSystemName="DrugCode" codeSystemVersion="1.0" displayName="ジルテック錠 10mg" />
```

```
<name>ジルテック錠 10mg</name>
```

```
</manufacturedLabeledDrug>
```

```
</manufacturedProduct>
```

```
</consumable>
```

レベル3

叙述部と構造化部は共に独立した記述とする

- 構造化された内容が叙述部から導出されている場合は、叙述部から導出した機械処理可能な部分によりプロセス(例: 著者、コーディング者、自然言語処理アルゴリズム、特殊なソフトウェア)を記述するためのメカニズムが存在しなければならない
- 叙述部が構造化された内容から導出されている場合は、叙述部が構造化されたデータから生成されたというプロセスを識別するためのメカニズムが存在しなければならない
- 叙述部は自然言語記述を含み定形化できない全ての記述とする
- 叙述部と構造化部は独立して両者とも見読性を持ちコンピュータ処理が可能であるとする

